

介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ①⑥

「ヘルパーのかかわりにより、清潔の保持が出来るようになった」

～事例分類～

健康状態 / 理解・行動 / ADL /

家事・IADL / QOL / 介護状況

ヘルパーさんとのかかわりが
どんな変化をもたらしたのか、
読んでみるまも♪



まもりん

【事例情報】

○30歳代後半 ○女性 ○精神障がい

【Before】令和元年8月頃

利用開始時、部屋の床が見えない程、ベッドの下や壁との間もゴミ（デリバリーの空きパックや食べ残し、ペットボトル等）で溢れていた。

トイレの床には使用済みナプキンがそのままの状態に溜め込まれており、便器は茶色。ペット（猫）の糞尿の処理もされず、部屋全体に異臭が放たれていた。



【After】令和元年11月頃

週2回（1回あたり身体介護30分+家事支援60分）で派遣開始。捨てる物を確認しながら本人と一緒に片付けを行った。ペットのトイレは、糞の始末やシートの交換の声掛けを行い、ご自分で行っていただいた。

数回の派遣で室内が整理されると「部屋が整理されているのは嬉しい」との言葉が聞かれ、定期的と一緒に掃除を行う事が出来るようになった。整理された状態がほぼ保てるようになり、活動時間短縮となった。



経過

阻害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
精神障がいにより、部屋を片付けられなくなっていた。	ヘルパーと一緒に掃除を行う事で室内を清潔にした。	本人だけでは手を付けられない程に散らかっていた為、定期的に掃除をする機会を作った。

事例提出者からのアピールポイント

項目	内容
本人の気持ちに寄り添う。	本人にとって快適な環境がどのようなものか確認をしながら支援し、本人が「このままが良い」と思う部分には無理して介入しないようにした。ヘルパーとの関係性が出来てくると共に、一緒に行く掃除の他、自分で調理や洗濯も定期的に行えるようになった。



💡事例へのコメント💡

ご本人の抱えている精神疾患もあり、これまでの生活を改善していくのはとても大変なことだったと思います。しかし、このケースの素晴らしいところは、ヘルパーの価値観で掃除を行うのではなく、**ご本人にとって快適な環境はどのようなものかを確認**し、ご本人が「このままでいいと思うところは無理して介入しない」ことにより、**ご本人主体の環境整備を行ったこと**にあると思います。

さらに、部屋の清掃の進展に伴い、**自ら家事を行いたいという意識を抱くようになったことは、その背景にヘルパーがご本人の気持ちに寄り添い、信頼関係を築いていった働きかけがあったのではないのでしょうか。**

【札幌市社会福祉協議会 地域福祉部】



私たちと一緒に 働きませんか♪

お友達を紹介して
ほしいまも

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
介護事業部



まもりん